特集 令和の米騒動を考える

そもそも 米騒動はなぜ起きた

- 昨年(2024)のコメ不足に対する不安
- 南海トラフに対する食糧不足への危惧
- インバウンド需要が大きくなったから

などなどいろいろと言われるが…

もっと奥が深い本当は…

構造的な問題が
- 生産調整の強化
- 水田を畑に(減反政策)
- コスト高でも安値で売買
- 農家の赤字補填なし

紙幣 これで他の作物を

⇓ 離農者の増加

米の生産減

加えて流通経費の増大

60キロ 2206～4,689円(3年前)
↓
7,079円

流通経費:運搬.保管 管理.小売経費等

米が足りない!

無くなったらどうする?

そこで備蓄米の放出

(政府)米は足りているが流通是正のための放出

出番だよ

安いよー!

小泉米(随意契約)の登場

農業はセクシーに

ボク達簡単にはできないから

さらに日本の農政の現状
2024財政審建議
- 農業予算が多すぎ
- 備蓄米を減らせ
- 食料自給率を重視するな

百姓を甘やかしすぎなんだよ
そんなに金だせない

今年も実ったけど環境の悪化で年々出来が悪くなっている
その上排水.農道ため池のメンテナンス機械化肥料代等出費はかさむ一方だよ

わしらの時給はたったの10円だよ

これってワンコイン?

こんな付け焼き刃でいいのか。

農政こそ国の根幹

国民の命を守る食料を国内で確保することこそ国防ではないか。

農は国の本なり

あきれるほどの大局的見地の欠如

農水予算 1兆円(1970年)
国家予算の12%
↓
現在2兆円
国家予算の2%弱

ex. 防衛費 8.7兆円(2025)

農家の平均年齢は69歳 あと10年ももつか。

後継ぎもいない この国の米は誰が作るのかな

見えてきたコメ不足 本当の理由

政府の減反政策により、コメ生産を抑制し続けたことが農村を疲弊させ、後継者が不足し、高齢化に拍車をかけた。

気になる食料自給率のこと

日本の食料自給率は38%と言われるが種や肥料も考慮すると10%あるかないか。海外からの物流が停止したら世界で最多の餓死者が出るとの試算もある。

農家への支援策

日本でも農家に再生産費補償を!

まさに農は国の本なり

EUでは

共通農業政策として年間7.3兆円(2022年)を農家の所得補償に。農家の所得の8割程度がまかなわれる。

スイスでは

農業支援を行うことが憲法上国の責務に→1農場あたり約900万円の支給。

日本では

1経営体当たり共済・補助金等で136万円(2023年)

※参考資料 月刊社会民主 特集 日本のコメを守れ

米は高いのか

(例)	93年価格(60キロ)	24年価格(同)
魚沼コシヒカリ	31,819円	26,022円
普通コシヒカリ	26,245円	23,378円 安くなってる!

※小売店への売渡価格

農水省統計資料より

コメを安くするのは良いが農家への支援も不可欠

コメの販売価格を5kg4,300円→2,000円にする!!

そうなったらわしらはどうやっていけばいいの

仮に5キロ4,500円としても茶碗1杯で55円程度 適正価格って一体??

55円

YOSHIHISA NEWS

2025.9.5. vol.46

Y通信 盛本芳久 NEWS

PICK UP! ・・・この1年

地震からの復旧途上、奥能登豪雨 9月21日

- 解体率約8割(6月)、住まいの再建にむけ支援
- 農地の不作付け800ha、基盤復旧と担い手確保課題

衆議院議員選挙「税金は軍拡より暮らしに」訴える 10月27日

参議院議員選挙 社民党政党要件確保 7月20日

- 排外主義政党躍進 助け合いの社会訴えラサール石井当選

令和の米騒動 備蓄米放出、農政の課題明確に

- 農家に再生産可能な所得を補償し米価の安定と自給率アップ

日本原水爆被害者団体協議会(被団協) ノーベル平和賞受賞 12月10日

F35Aステルス戦闘機 小松基地に配備 4月1日

- 日本は世界有数の軍事大国に
- 軍拡競争ではなく平和外交徹底を

エネルギー基本計画閣議決定 2月18日

- 原発依存低減方針から一転、最大限活用、新増設も推進に
- 地震の予知は不可能、志賀原発廃炉で能登の創造的復興を

高校授業料無償化拡大 4月1日

- 私学支援増額で公立高校離れ進む懸念、公立高校充実を
- 所得制限解消

小学校35人学級 完全実施 4月1日

- 中学校の早期実施と低学年の30人学級、教職員増不可欠

県立あすなろ中学校開校 4月7日

- 初の夜間中学で教育機会の確保、新たな学びを支援
  一方で、学校の居場所確保で不登校の課題への対応急務

トキの放鳥 26年羽咋市南潟地区に決定 7月16日

子ども未来

発行責任者 盛本芳久
金沢市香林坊 1-2-40 教育会館内
TEL.076-223-1444
http://molimoto.com

盛本よしひさ ホームページ http://molimoto.com/

盛本芳久 facebook https://www.facebook.com/yoshihisa.morimoto.52

志賀原発を廃炉に! 訴訟 原告団 ホームページ https://shika-hairo.com/

石川県議会ホームページ https://www.pref.ishikawa.lg.jp/gikai/index.html

投票が明日の社会をつくる

参議院議員選挙において支持を伸ばした、いくつかの政党があった。支持拡大の方策としてSNSや短い動画の投稿が用いられ、効果的だったと評価されているが、その内容と手法を見て、率直にこれからの政治と社会に危うさを感じている。その不安と、それの解消のためにすべきことが、この土井たか子さんの言葉に凝縮されていると思う。(盛本芳久)

政治は、政治によってしか光が当たらない人たちのためにある。
政治家がしてはならないことは、人の心の妬みや憎しみ、差別を煽ること。

政治は希望を組織化するものだ

土井たか子

令和7年度3月予算委員会で質問したことをお伝えします

石川県議会中継
議会記録▶

日米地位協定について

盛本 **日米地位協定について、沖縄での米兵の犯罪、全国各地の軍用機の騒音や低空飛行など、住民の不安が高まっている中、改定の必要性を指摘をされてきたわけであるが、知事の考えは。**

知事 石破総理も昨年12月の国会において、日米同盟の抑止力、対応力を強化するとともに、在日米軍の信頼性、同盟の強靭性、持続性を高めていくという観点から検討し、適切に判断する」と答弁されている。日米地位協定など防衛に関することは国の専管事項であるので、県としては政府の対応を注視していく。

第7次エネルギー基本計画と志賀原発について

盛本 **第７次エネルギー基本計画が２月18日に閣議決定されたが、この計画では福島第一原発事故以降の方針、「可能な限り原発依存度を低減する」という文言が削除され、原子力を最大限活用するといった原発回帰の内容になっている。県もこの計画の推進に協力をしていくという立場にあるのかどうか、見解を聞く。**

企画振興部長 県の立場としては、原子力発電所については何よりも安全性の確保が大前提であると考えている。

盛本 **この安全というのは一体何なのか。国際的には深層防護という考え方が安全の基本になっており、そういう国際基準にのっとって国も考えていると思うが、深層防護とはどういった考え方なのか。**

危機管理監 深層防護とは、まず異常や事故が起きないように万全の対策を講じた上で、万一異常が発生した場合においても、事故の発生に至らないように対策を講じ、さらに事故が発生した場合においても、周辺公衆に影響を及ぼすことがないように放射能の閉じ込め対策等を講じるといった、多重の安全対策を講じることというふうに認識をしている。

部活動の地域移行について

盛本 **県内では加賀市や小松市、かほく市が進んでいるように思うが、県内の市町の現状や課題について聞く。**

教育長 本県では今年度、12市町が国の事業を活用して実証事業に取り組んでいる。来年度は、14の市町が国の実証事業を活用して取り組む予定。各市町では、学校と競技団体や指導者をつなぐコーディネーターを配置したり、教職員、保護者の意向調査などを行ったりするなど、受皿となる運営団体や指導者の確保、保護者の同意などが得られた部活動から順次地域クラブ活動への移行を進めている。既にほとんどの市町では、既に移行が完了した、あるいは完了のめどが立った部活動があるといった状況である。地域移行を進めるに当たり、地域で受皿となる運営団体や指導者の確保、あるいは活動場所や移動手段の確保が課題となっている。

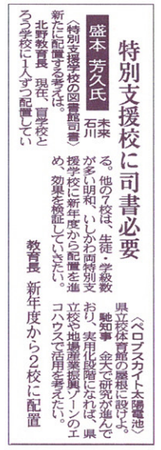
盛本 **今後、県はどういう意思を持って、必要なアドバイスや指導を行っていくのか。**

教育長 国が示した「令和８年度から13年度までを次の改革期間とし、休日については原則全ての学校部活動の地域展開の実現を目指す」という方向性に沿っていく。県教委では、県と全市町で全体の協議会を開催し、国の動向や県外の先進事例、あるいは県内の取組状況を共有したり、受皿となり得るようなスポーツ・文化団体や指導者などを市町に紹介したりしている。

特別支援学級について

盛本 **特別支援学級の１学級の定員は上限８人ということで、法律で決まっている。今、在籍人数が８人近いところは相当多くあり、学年がまたがっている中で全ての子どもたちを１人の担任が見ていかなければならない。国が定数法を変えなければいけないと思うが、教育委員会は今この状況について、どんなふうに認識しているのか。**

教育長 特別支援学級１学級当たりの平均の児童生徒数は3.4人となっており、全国を大きく下回っている状況である。特別支援教育については、全国知事会などを通じ、国に対して学級編制の標準の引下げや定数改善などを講じるよう要望しているところである。


特別支援学校に司書必要

盛本 芳久氏

〈特別支援学校の図書館（室）に司書を〉

県立学校の図書館に配置を求めた。他の7校は、金沢・学級数が多い明和、いしかわ両特別支援学校に新年度から配置を進め、効果を検証していきたい。

〈ベロブスカイト太陽電池〉

馳知事 金沢で研究が進んでおり、実用化段階になれば、県立校や地場産業振興ゾーンのエコハウスで活用を考えたい。

教育長 新年度からろう校に配置

北國新聞より

能登の復興と県立高校について

盛本 **奥能登の高校の再編整備について知事は「再編整備は行わない。今ある学校の機能を踏まえて新たな価値観を生み出していく」と答弁されていたが、知事が考える新しい価値観ついてその思いを聞く。**

知事 能登では、豊かな環境がもたらす恵みに感謝し、時に見せる厳しい自然現象とも折り合いをつけながら暮らしを営んできた。こうした能登が持つすばらしい価値をさらに磨き上げていくことで、新しい時代にふさわしい地域づくりにつなげていきたい。とりわけ、高校教育においては、今般の災害を契機に生徒自らが能登地域の自然や人間、社会、文化、産業等を改めて見詰め直すことで能登の価値を実感するとともに、国内外の若者との交流や課題解決型学習を積極的に進め、能登の復興を自ら主体的に担えるように創造的復興教育を推進したい。

YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN YTSUSHIN

活動報告

●9月5日　県議会農業研究会現地調査
●9月9日　能登の介護従事者の住環境整備を県に要望

●9月13日～1日
県議会9月定例会
●9月14日　運輸労連定期大会
●9月15日　フェアトレード塾
●9月22日　全国一般労組定期大会
●9月22日　七尾高校本部・金沢合同同窓会

●9月29日　弥生公民館社会体育大会
●9月29日　石川県障害者フェスティバル
●10月5日　金沢市戦没者慰霊式
●10月11日～12日
石川県教育研究集会
●10月15日～27日
衆議院議員選挙

●10月19日　小松瀬領特別支援学校創立記念式
●10月20日　石川の農林漁業まつり、石川の技能まつり
●10月21日　全自交石川ハイタク連合会定期大会
●10月28日　日米合同軍事訓練抗議集会
●11月2日　ひまわり教室50周年を祝う会
●11月3日　護憲集会・憲法公布76周年県民集会

●11月9日　KHJ全国大会in石川
●11月10日　石川県総合防災訓練
●11月15日　障害児と共に歩む教職員と親の会
●11月16日　県教組特別支援学校交流会
●11月19日　厚生文教委員会能登視察
●11月21日～22日
災害・県土強靭化対策特委県外視察
●11月23日
大衆運動活動家顕彰会
●11月24日
石川県原子力防災訓練
●11月28日
教育総研学力調査に関する県申し入れ
●12月2日
石川県労福協県知事要請

●12月3日～19日
県議会12月定例会
●12月3日　石川県交運労協定期大会
●12月8日　南京事件を考える集い
●12月14日　能登半島地震1周年・志賀原発廃炉集会
●12月15日　石川県音文協第9・八千代獅子公演出演（尺八）
●12月20日　石川県戦没者慰霊式
●12月20日　社会法律センター定期総会
●12月31日　社民党大晦日街宣
●1月1日　能登半島地震・奥能登豪雨犠牲者追悼式
●1月5日　金沢市消防出初め式
●1月6日～　新春の集い（県教組、連合石川、県平和センター、弥生公民館ほか）
●1月16日　上荒屋寿会連合会新年祝賀会で尺八演奏

●1月18日　弥生公民館新年会
●1月22日　原子力防災計画・安全協定に関する質問書を県に提出

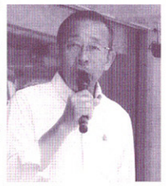
●1月26日　運輸労連春闘討論集会
●1月29日～31日
全国地方議員交流研修会（沖縄）分科会で座長
●2月2日　音楽文化協会新年互礼会
●2月8日　尺八星雲会社中弾き初め会
●2月15日　ひまわり教室・共生の文化講座「みんないっしょに生きようよ」
●2月16日　白山市議会議員選挙・山口俊哉当選
●2月16日　農業法人「株式会社しなんた」株主総会
●2月25日～3月19日
県議会2月定例会
●2月26日　野町弥生消防協力会総会
●2月27日　連合石川春闘総決起集会
●3月1日　金沢美術工芸大学卒業制作展鑑賞
●3月9日　金沢城公園二の丸御殿整備工事起工式
●3月14日
盛本予算委員会質問
●3月16日
志賀原発は廃炉だ！県民集会
●3月30日
科学教育研究協議会春の学習会

●4月1日　小松基地F35A戦闘機配備抗議集会
●4月2日　石川県憲法を守る会総会
●4月5日　弥生さくら公園「桜まつり」
●4月5日　いしかわ特別支援学校高等部新校舎内見会
●4月7日　県立あすなろ（夜間）中学校開校式
●4月19日　社民党石川県連定期大会

●4月25日～29日
韓国平和友好交流（韓国禮山郡ほか）
●5月1日　連合石川メーデー石川中央集会
●5月3日　憲法施行78周年護憲集会・県民集会
●5月15日　原水爆禁止石川県民会議総会
●5月21日　太陽観測会in能美市
●5月25日　北日本琴古流尺八演奏会出演
●5月27日
志賀原発を廃炉に！訴訟原告団総会

●5月31日
日本現代工芸美術展石川展鑑賞
●6月2日
教育総研・県教委教育予算説明会
●6月2日　原水禁石川県民会議平和行進富山との引き継ぎ式
●6月17日　映画「能登デモクラシー」鑑賞
●6月19日　県退職教職員協総会
●6月21日　原水禁石川能登地区平和行進（志賀原発周辺）
●6月22日　集会「福島みずほと語る日本の未来」
●6月23日
福島社民党党首能登視察

●6月26日
北陸電力株主総会会場前アピール
●6月28日
シンポジウム「恋するホタルの田んぼ環境」
●7月2日　県漁業調査船「白山丸」竣工式
●7月3日　参議院議員選挙公示
●7月6日　金沢市・石川県音楽文化協会理事会、総会
●7月6日　金沢市消防団野町分団連合検閲報告会
●7月17日　自衛隊護衛艦一般公開反対、県への申し入れ
●7月20日　参議院議員選挙

●7月20日　森一敏後援会犀川クリーンウォーク
●7月26日　県教組全支部執行委員会学習会
●7月27日　芦中町町会バス旅行
●8月3日　盛本後援会「真夏のビアパーティー」
●8月4日　のと里山空港機能強化要望
●8月5日　石川県戦没者慰霊式
●8月7日～9日
原水爆禁止長崎大会参加（視察団長）
●8月20日　連合石川政策制度討論集会
●8月26日　環境農林建設委員会能登視察
●8月28日　盛本芳久と星を見る会

- 県議会常任委員会（24年度：厚生文教、25年度：環境農林建設）（毎月）
- 県議会特別委員会（24年度：災害・県土強靭化対策、25年度：少子高齢化対策）
- 石政連連絡協議会（年4回）
- 教職員組合定期大会・機関会議
- 社民党全国連合・県連合・金沢各種会議、議員団会議
- 志賀原発裁判原告団運営会議（毎月）
- 社民党金沢早朝定例街宣（毎週）
- 憲法改悪NO市民アクション街宣（毎月）
- 志賀原発を廃炉に訴訟原告団街宣（毎月）
- 連合石川街宣（労働組合の日、最低賃金ほか）
- 子ども食堂手伝い（毎月）